

連合愛媛が取り組むジェンダー平等・多様性推進

トップリーダーによる 推進宣言について

UA ゼンセン

UA ゼンセンは、機関会議等の女性比率の向上などの初期の課題は確実に克服されつつあるものの、組合員の参加・参画という視点では次の課題がより顕在化している。①女性トップリーダーの輩出が停滞②女性組合員の多くを占める短時間組合員の運動への参画度が地域や業種によって異なる③活動を支える単組役員ほとんどが非専従であり、かつ後継者不足に苦慮している

まずは、これらの課題の本質を精査し構造を明らかにしていくと同時に、解決に向けて男女共同参画委員会でアイデアを出しながら実践も同時進行で積み重ねていくことが必要と感じている。そして「一人ひとりが人間らしく、心豊かに生きていく持続可能な社会」を目指して周知・定着に取り組んでいきたい。



長岡英樹 支部長

基幹労連

私たちは、男女共同参画推進計画を策定し、性別にかかわらず、全ての働く者がワークライフバランスを実現するとともに、責任や権利・機会を平等に分かち合い、活き活きと働くことができる職場づくりを目指しています。これからも、ものづくり産業で働く全員が個性と多様性を尊重し、皆がそれぞれの強みを発揮できる職場風土の醸成に積極的に取り組んでいきます。



岡本 武 委員長

JP 労組

日本社会はジェンダー・ギャップ指数(経済・教育・健康・政治の4分野の評価)では、148ヶ国中118位と先進国の中では長期に渡り、極めて低位にあります。

JP 労組は、運動目標である「ジェンダー平等推進計画フェーズ2」の数値目標の達成に向け、全支部で取り組みを強化している最中にあります。

そのポイントとして、女性があらゆる運動に平等に参画し、組織として自らの組織の制度や慣行の見直し、何よりも一人ひとりの「行動」と「意識」を変えていくことに力点を置いています。

連合愛媛の仲間みなさん、今こそ、ジェンダー平等を実現するため全組織で行動を始めましょう!



峰行一夫 執行委員長

電力総連

四国電力総連愛媛県連絡会では、「電力総連男女平等参画推進計画」で掲げた目標の達成に向け、各級機関と連携のもと、「労働組合における男女平等参画」と「職場・社会における“人権が尊重される社会の実現”」を運動の両輪とした活動を展開していきます。

性別にかかわらず個性と能力を十分発揮し、均等に経済的、社会的利益を享受できる男女平等参画社会を目指します。



大岩 聖 議長

自治労

自治労愛媛県本部は、本部方針「自治労ジェンダー平等推進計画」をふまえ、組合におけるジェンダー平等参画に向けて、女性参画30%を「達成すべき目標」として設定し、LGBTQ+の差別解消にも取り組むこととしています。

今後、アンコンシャスバイアスに基づく行動様式の脱却、女性参画率の向上、多様な性のあり方に基づく権利保障の立場から労働組合としての取り組みを積極的に進めます。



中塚広之 執行委員長

電機連合

電機連合の各種調査では、男女間の賃金差や労働時間、育児休業制度の利用に偏りが確認されています。このため、「女性活躍推進法の改正に対する電機連合の考え方と取り組み」(2025年12月)に基づき、是正に向けた取り組みを進めます。併せて、LGBT理解増進法の成立を受け、SOGIへの理解促進が急務であることから、「SOGIに関するハラスメント対策や差別禁止に向けた取り組みガイドライン」(2020年)に基づく対応を徹底します。



中村智也 議長

JAM

JAMは新男女平等参画アクションプランの実現に向け、女性参画率30%を目標に推進を行っておりますが、諸会議の出席率は10%前後であり厳しい実績が続いております。JAMの女性組合員比率は10%程度であり女性参加比率向上には苦戦をしておりますが、長く続いた社会習慣を打破するためには当然時間は必要であります。我々組織のリーダーが粘り強く活動を続けていくことが重要であり連合の仲間と共に活動を強化していきます。



四村昌弘 議長

情報労連

情報労連は、「性別や年齢の違い、障がいの有無、貧富の差にかかわらず、『ケイパビリティ』が誰にでも平等に保障される社会」の実現をめざしています。その実現に向け「男女平等参画」と「SOGIの尊重」を包含する「第2次ジェンダー平等推進計画」を進めています。

女性役員の積極的な登用・定着や、多様な視点を生かした意思決定を通じ、トップリーダーとして、安心して働ける、互いを尊重し合える職場づくりを推進します。



松木光晴 議長

私鉄総連

LGBTQとは性の多様性であり、本来差別されるべきことではありません。

しかし実際は、年齢や地域に関わらず世界各地で人権侵害や差別を受けている現状があります。日本も例外ではなく、現在においても性的マイノリティの方々には家庭、学校、職場など、日常生活の様々な場面で生きづらさを抱えています。全ての人が、お互いの人権や尊厳を大切にすることによって、安心して生活することができる社会の実現に向け、意識を高めていかなければなりません。



宮崎 司 執行委員長

連合愛媛青年委員会・女性委員会

エコキャップの売却金を NPO法人に寄付!

連合愛媛青年委員会・女性委員会では、SDGs(国連持続可能な開発目標)を達成しサステナブルな社会をつくるため、わたしたちの日頃の行動を今いちど見直してみることが求められることから、エコライフ運動の一環として、「ペットボトルキャップ回収」に取り組んでいます。

4月11日(土)に青年委員会・女性委員会の役員6名と事務局1名がペットボトルキャップ約64,000個(160kg)を(株)松山容器へ持参し、その売却益800円を開発途上国の子どもワクチン支援に役立てることを目的に「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に寄贈しました。



「エコキャップ運動」とは

ペットボトルのキャップを分別回収し、リサイクルを促進することにより、キャップの焼却時に発生する地球温暖化の原因となるCO₂を削減すると同時に、はずしたキャップの売却益でワクチンを購入し、世界の子どもたちの命を救おうという目的で始まりました。現在は、リサイクルの過程で雇用を創出できることがわかり、①リサイクルの推進、②CO₂の削減、③売却益による発展途上国の医療支援、の3つに加え、障がい者・高齢者の雇用促進が4つ目の目的となっています。



【参考】

ポリオワクチン価格

ポリオ	約 20円
MMR	約 260円
BCG	約 30円
DPT	約 30円
B型肝炎ワクチン	約 40円
五価ワクチン	約 190円

第10回 愛媛県中小企業家 同友会との懇談会 を開催

5月21日(木)に、愛媛県中小企業家同友会役員との意見交換会を行い、連合愛媛から9名が参加しました。連合愛媛からは今年度の活動紹介として、2026連合愛媛および連合の春闘状況の説明、これまでに実施した各行政への要請や組織拡大の取り組みについて報告しました。

愛媛同友会からは、2026年1-3月期の景況調査結果と、2026年度活動方針および10年ビジョンについて説明を受けました。

フリーディスカッションでは、今後の最低賃金の動向や人材確保に関する課題について意見交換をしました。

労働者が働きやすい職場環境づくりに向け取り組む方向性は同じであり、引き続き情報交換を行いながら連携を図っていくことを確認しました。



6月は
連合男女平等
月間だよ!

